



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 秋津 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長

(氏名) 榎本 実

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 平成28年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,321	△11.1	△195	—	△219	—	106	—
28年3月期第1四半期	4,860	△2.2	△311	—	△328	—	△496	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 67百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △494百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	3.76	2.64
28年3月期第1四半期	△17.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	27,302	6,847	25.1
28年3月期	27,548	6,779	24.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 6,847百万円 28年3月期 6,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、現時点では不確定要素が多く見通せないため、未定となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	28,300,000 株	28年3月期	28,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	51,462 株	28年3月期	51,462 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	28,248,538 株	28年3月期1Q	28,249,463 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00
第2種優先株式					
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

- (参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第1種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.0\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第2種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.25\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 9
4. 補足情報	
(1) 受注高及び受注残高	P. 11
(2) 売上高	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に力強さが欠け、設備投資についても輸出企業を中心に停滞し、また、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の経済の減速、英国のEU離脱が世界経済に及ぼす影響も懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境において、当第1四半期連結累計期間における売上高は、情報システムの減少及び前年7月1日に計測事業を譲渡したことに伴い、前年同期比5億39百万円減少の43億21百万円(前年同期比11.1%減)となりました。

損益に関しましては、売上高は減少したものの、原価改善、諸経費削減等により営業損失は前年同期比1億15百万円改善の1億95百万円、経常損失は前年同期比1億8百万円改善の2億19百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う法人税等調整額の減少により、前年同期比6億2百万円改善の1億6百万円となりました。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムは、売上高が官需市場で国内調達が増加している影響により前年同期比4億59百万円減少の20億81百万円(18.1%減)となりました。

損益に関しましては、諸経費の削減に努めたものの売上高の減少及び原価率の悪化により前年同期比96百万円悪化の2億24百万円のセグメント損失となりました。

電子機器

電子機器は、計測事業譲渡による減収に加え、赤外線機器は市場の低迷による影響で減収となったものの、接合機器がスマートフォン等情報機器に使用される電子部品の小型化に対応する生産設備の需要を取り込み、装置が好調に推移し増収となったことから、売上高は前年同期と比較してほぼ横ばいの1百万円減少の15億24百万円(0.1%減)となりました。

損益に関しましては、プロダクトミックスの変動による利益の増加及び諸経費の削減に努めた結果、前年同期比1億19百万円改善の96百万円のセグメント利益となりました。

プリント配線板

プリント配線板は、車載向けの半導体高温スクリーニングテスト用基板が好調に推移したものの、当社の得意とする高信頼性基板及び半導体計測装置向け基板の減少により、売上高は前年同期比77百万円減少の7億14百万円(9.8%減)となりました。

損益に関しましては、生産性の向上による原価低減及び固定費削減に努めた結果、前年同期と比較して93百万円改善の67百万円のセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少し、273億2百万円となりました。これは主にたな卸資産が5億38百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が14億37百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億13百万円減少し、204億55百万円となりました。これは主に賞与引当金が3億85百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ67百万円増加し、68億47百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億6百万円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月7日に公表いたしました「連結子会社における物件収去等に伴う補償金の収受及び、プリント配線板事業の移管並びに、通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、不確定要素が多く見通せないため、未定となっております。

今後、連結業績に与える影響を慎重に見極め、公表可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,145	2,447
受取手形及び売掛金	11,495	10,058
たな卸資産	4,182	4,720
その他	740	1,132
貸倒引当金	△2	—
流動資産合計	18,561	18,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,375	1,342
土地	4,004	4,004
その他(純額)	632	627
有形固定資産合計	6,013	5,974
無形固定資産		
投資その他の資産	292	264
退職給付に係る資産	1,835	1,862
その他	916	912
貸倒引当金	△71	△71
投資その他の資産合計	2,680	2,703
固定資産合計	8,986	8,943
資産合計	27,548	27,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,471	3,769
短期借入金	5,405	5,753
未払法人税等	13	5
賞与引当金	809	424
製品保証引当金	39	73
その他	1,467	1,330
流動負債合計	11,208	11,355
固定負債		
長期借入金	3,233	2,795
再評価に係る繰延税金負債	994	994
退職給付に係る負債	5,308	5,284
その他	24	24
固定負債合計	9,560	9,099
負債合計	20,768	20,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
資本剰余金	750	750
利益剰余金	△2,540	△2,434
自己株式	△13	△13
株主資本合計	4,091	4,197
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	2,253	2,253
退職給付に係る調整累計額	434	395
その他の包括利益累計額合計	2,688	2,649
純資産合計	6,779	6,847
負債純資産合計	27,548	27,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,860	4,321
売上原価	3,942	3,415
売上総利益	917	905
販売費及び一般管理費	1,229	1,100
営業損失(△)	△311	△195
営業外収益		
技術指導料	2	2
受取手数料	1	1
その他	6	0
営業外収益合計	10	5
営業外費用		
支払利息	23	22
その他	4	7
営業外費用合計	27	29
経常損失(△)	△328	△219
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事務所移転費用	13	—
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△342	△219
法人税等	153	△326
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△496	106
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△496	106

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△496	106
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1	—
退職給付に係る調整額	2	△38
その他の包括利益合計	1	△38
四半期包括利益	△494	67
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△494	67
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期累計(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,541	1,526	792	4,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,541	1,526	792	4,860
セグメント利益 (営業利益)	△128	△22	△160	△311

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,081	1,524	714	4,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,081	1,524	714	4,321
セグメント利益 (営業利益)	△224	96	△67	△195

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は平成28年7月7日開催の取締役会において、東海旅客鉄道株式会社（以下、JR東海）が推進するリニア中央新幹線計画に協力するため、プリント配線板の製造を分担している連結子会社の山梨アビオニクス株式会社（以下、YACL）の敷地の一部をJR東海に譲渡し、当該敷地から建物等を収去する補償としてJR東海から補償金を収受すること、また、プリント配線板事業を沖電気工業株式会社グループ（以下、OKI）に事業移管することを決議いたしました。

1. 当該事象の内容

リニア中央新幹線の軌道が、YACLの敷地を通過し、一部の建屋が支障になることとなりました。この結果、現工場での生産が不可能になるため、土地譲渡の補償対象となるYACLは平成30年3月末までの生産停止を目指すとともに、その後、建屋を解体、敷地上の動産を撤去し、JR東海へ土地を譲渡する予定です。（下記2. ご参照）

リニア中央新幹線計画によるYACL工場閉鎖が不可避となったため、当社は様々な代替案の検討を進めてまいりましたが、高信頼性プリント配線板の製造には、高いプロセス技術ノウハウと製造技術、並びに工場の品質管理力が要求されるとともに、最終のお客様より品質に関する認定（ライン認定）を得た製造ラインでのみ生産が許されるなどの事情もあり、工場の移転による事業の継続は困難と判断し、OKIへ当該事業を移管することを決定いたしました。（下記3. ご参照）

当社グループが手がけるプリント配線板は、産業向けの超高多層のプリント配線板、温度や圧力に対する高い耐環境性能が要求される宇宙・防衛向けの高信頼性プリント配線板と多岐にわたっております。移管先については、これらのプリント配線板の供給継続のために、当該領域に実績を持つ同業他社の中から、十分な事業規模があり、技術力、品質管理力等の優れたOKIへの事業移管が最善と判断いたしました。事業移管にあたっては技術・ノウハウの移転が円滑に進むよう注力してまいります。

事業移管の具体的内容につきましては、今後お客様との協議を行い、平成28年度後半より事業移管準備の整ったプリント配線板より順次その製造をOKIへ切り替えるとともに、新規品の受注につきましても順次当社での受注活動を停止してまいります。宇宙・防衛向けのプリント配線板の移管にあたってはライン認定を順次取得し、このライン認定取得をもって事業移管が完了する見込みであります。

なお、本件移管は、お客様の同意をいただく手続きを行いながら、準備の整ったお客様から順次OKIに移して行くため、当社では事業移管と称しております。

2. 連結子会社における物件収去等に伴う補償金の収受**(1) 当該事象の発生日**

平成28年7月7日（取締役会決議日）

(2) 収去する資産の内容

資産の内容及び所在地	帳簿価額 (平成28年3月末現在)	現況
建物、工作物、立木、動産他 山梨県南アルプス市宮沢568番地	851百万円	工場として稼働中

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

収去する資産等に対する補償金を、特別利益として平成29年3月期に3,694百万円、平成30年3月期に1,477百万円、土地の引渡時に2,216百万円を計上する予定であります。一方、引渡時までには建物その他資産の帳簿価額及び譲渡に付随する費用等を、損失計上する予定であります。

3. プリント配線板事業の移管

(1) 当該事象の発生年月日

平成28年7月7日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の移管先の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

① 名 称	沖電気工業株式会社
② 住 所	東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
③ 代 表 者 の 氏 名	代表取締役社長執行役員 鎌上 信也
④ 資 本 金	44,000 百万円
⑤ 事 業 の 内 容	電子通信・情報処理・ソフトウェアの製造・販売及びこれらに関するシステムの構築・ソリューションの提供、工事・保守及びその他サービスなど

(3) 移管事業の規模

	移管対象事業 (a)	平成28年3月期連結実績(b)	比 率(a/b)
売 上 高	2,650 百万円	22,920 百万円	11.5%

(4) 移管価額

本件移管において、移管先が必要とする資産（設備）は引渡時点の簿価にて譲渡する予定であります。これ以外に本件移管についての対価は発生いたしません。

(5) 移管期日

平成30年3月31日（予定）

(6) 当該事象の連結損益に与える影響額

特別損失として平成29年3月期に事業移管に係る費用490百万円を計上する予定であります。

なお、事業移管が完了するまでの期間において、事業規模縮小や現工場の閉鎖に伴い費用等が発生する懸念がありますが、今後、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

4. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成28年3月期 第1四半期累計		当四半期 平成29年3月期 第1四半期累計		(参考) 平成28年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	2,125	6,367	1,852	6,068	12,602	6,297
電子機器	1,787	1,367	2,101	1,316	6,390	739
プリント配線板	631	716	770	692	2,834	636
合計	4,544	8,451	4,725	8,077	21,826	7,673

(2) 売上高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成28年3月期 第1四半期累計		当四半期 平成29年3月期 第1四半期累計		(参考) 平成28年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	2,541	52.3%	2,081	48.2%	13,088	57.1%
電子機器	1,526	31.4%	1,524	35.3%	6,757	29.5%
プリント配線板	792	16.3%	714	16.5%	3,074	13.4%
合計	4,860	100%	4,321	100%	22,920	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成28年3月期 第1四半期累計	当四半期 平成29年3月期 第1四半期累計	(参考) 平成28年3月期
	海外売上高	海外売上高	海外売上高
情報システム	—	2	30
電子機器	484	736	2,700
プリント配線板	49	125	278
合計	533	863	3,009
海外売上高の連結 売上高に占める割合	11.0%	20.0%	13.1%